

福井県大野市内におけるマグソクワガタの採集記録

岩佐 康平*

A record of *Nicagus japonicus* Nagel at Oono City, Fukui Prefecture

Kohei IWASA*

(要旨) 2021年4月24日に大野市上打波でマグソクワガタ1♂が採集された。

キーワード：マグソクワガタ, 大野市, 福井県

マグソクワガタ *Nicagus japonicus* Nagelはコウチュウ目クワガタムシ科 (Coleoptera: Lucanidae) に属する昆虫である。山形県以南の本州、四国、九州などに分布し、川原などの粒子の細かい砂が堆積した植物がほとんど生えていない場所に生息し、砂に埋もれた広葉樹の朽木に産卵する (横川, 2019)。

本種は県内では従来池田町檜俣で記録があるのみであり (佐々治・斉藤, 1985; 佐々治ほか, 1998), 生息状況に関する情報が不足していることから、改訂版福井県レッドデータブックでは要注目に選定されている (福井県自然環境課, 2016)。その後、池田町河内でも記録されたが (梅村, 2021), 依然県内における生息情報は少ない。

筆者は、大野市上打波において本種を採集したので、下記のとおり報告する。

マグソクワガタ *Nicagus japonicus* Nagel

福井県大野市上打波, 1♂, 24-IV-2021, 岩佐康平採集・保管 (図1)。

採集した場所は、上流部に大規模な森林のある打波川の中流右岸で、細かな砂礫に流木等が堆積した、典型的なマグソクワガタの生息環境 (図2) であった。同地点を翌年の2022年5月4日に再び調査した際には、枯草や流木の上で活発に活動する多数の成虫を観察できた (図3)。こうした環境は、河川の氾濫や改修工事によって容易に失われるおそれがある。一方で、県内の山間部には、切り立った崖の下や渡河を必要とするなど調査困難な場所を含め、類似した環境が他にも見られる。今後、こうした場所を成虫の発生時期に丹念に調査することにより、本種の新たな産地が発見される可能性があることから、更なる調査が望まれる。



図1. 大野市上打波で採集されたマグソクワガタ♂
(大野市上打波, 2021-IV-24, 岩佐康平採集・保管)

本稿をとりまとめるにあたり、発表の場を提供していただくとともに、様々な助言をいただいた福井市自然史博物館の梅村信哉学芸員に心よりお礼申し上げます。

引用文献

- 福井県安全環境部自然環境課編, 2016, 改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物 2016, 福井県安全環境部自然環境課, 536p.
佐々治寛之・斉藤昌弘, 1985, 甲虫目 COLEOPTERA. 福井県自然環境保全調査研究会昆虫部会編, 福井県昆虫目録, 福井県, 79-245.

*福井市自然史博物館友の会 〒918-8006 福井市足羽上町147

*Friends Membership of Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui City, Fukui 918-8006, Japan



図2. 大野市上打波のマグソクワガタ採集環境の様子
(大野市上打波, 2022-V-4, 岩佐康平撮影)

佐々治寛之・井上重紀・酒井哲弥・斎藤昌弘・陶山治宏,
1998, コウチュウ目 COLEOPTERA. 福井県自然環境
保全調査研究会昆虫部会編, 福井県昆虫目録 (第2版),
福井県県民生活部自然保護課, 99-311.

梅村信哉, 2021, 2021年度夏季企画展解説パンフレットカ
ブクワ大行進! ~福井県のカブトムシ・クワガタムシ~.
福井市自然史博物館, 15p.

横川忠司, 2019, クワガタムシハンドブック増補改訂版.
文一総合出版, 128p.



図3. 大野市上打波で見つかったマグソクワガタ♂
(大野市上打波, 2022-V-4, 岩佐康平撮影)